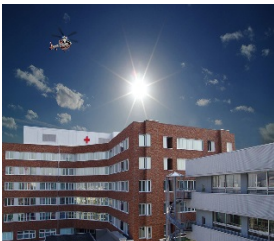


専門研修プログラム連携施設紹介フォーマット

施設名	旭川赤十字病院	連携領域	内科、整形外科、皮膚科、産婦人科、皮膚科、放射線科、病理診断科	
			病院情報	
			住所	070-8530 旭川市曙1条1丁目1番1号
			連絡先	0166-22-8111（代表）
			病床数	520床
			理念	赤十字の基本理念に基づき、個人の尊厳及び権利を尊重し、質の高い医療を提供します。

領域別研修紹介

領域名	眼科	指導医数	2	名	専門医 数	3	名
	《研修責任者》 眼科部長 太田 勲男 昭和 60 年旭川医科大学卒業、米国ハーバード大学スケペンス眼研究所留学、日本眼科学会専門医、指導医、白内障手術などを担当 眼科部長 籠川 浩幸 平成 5 年旭川医科大学卒業、米国ハーバード大学ジョスリン糖尿病センター留学、日本眼科学会専門医、指導医、網膜硝子体手術などを担当						
	《研修の特色、ストロングポイント》 当院眼科では白内障、網膜硝子体をはじめとする手術治療を診療の中心に据え、診断および治療、手術機器を整備し、この分野に経験豊富な専門医、指導医が多数の症例の治療を行っています。当科での研修ではこれらの指導環境で執刀者、助手として多数例の手術症例の経験が可能です。また当院は高度救命救急医療を担当する病院で、耳鼻科、形成外科、口腔外科、脳神経外科、神経内科などと協力し、多くの外傷、救急、神経等の全身疾患症例の眼科的診療に当たっていますので、眼科診療にも不可欠な全身疾患への対応技術が習得できます。						
《学会認定施設》 日本眼科学会専門医制度研修施設（第 2 号）							
《連絡先》 旭川赤十字病院 眼科 TEL 0166-22-8111（代表） 担当：部長 太田 勲男							

領域別研修紹介

領域名	産婦人科	指導医数	1	名	専門医 数	3	名
		《研修責任者》					
		第一産婦人科部長 玉手 健一 日本産婦人科学会認定医 日本母体保護法指定 ベストドクターズ					
《研修の特色、施設のストロングポイント》 上級医とともにチームを作り、受持医の一員として患者の診療にあたります。周産期・婦人科腫瘍・生殖内分泌・女性のヘルスケアの4つの領域偏りのない標準医療を身に着けることが可能です。まず当院で産婦人科の基本的な知識や手技を身に着けた後、連携病院にて希望に応じたサブスペシャリティ領域の専門医取得に向けたプログラムを作成することが可能です。 また自験例の症例報告や臨床統計に関する学会発表などを行うことも可能です							
《学会認定施設》 日本産婦人科学会認定制度周産期登録施設							

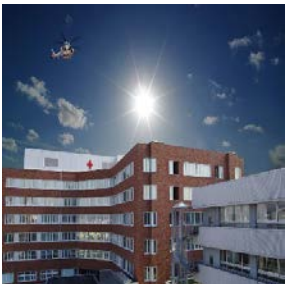
領域別研修紹介

領域名	内科	指導医数	17 (3)	名	専門医数	17	名
		《内科専門医研修責任者》 副院長 吉田 一人 内科専門研修に関する連絡・問い合わせ先 旭川赤十字病院 教育研修センター ☎0166-22-8111(内線1420・1421)					
《研修の特色》 旭川赤十字病院は、急性期病院であるとともに、地域の病診・病病連携も積極的に行っており、common diseaseの経験はもちろん、超高齢者社会を反映し複数の病態をもった患者の診療経験など幅広い症例を経験することが出来ます。また、主担当医として、入院から退院(初診・入院～退院・通院)まで可能な範囲で経時的に、診断・治療の流れを通じて、一人一人の患者の全身状態、社会的背景・療養環境調整をも包括する全人的医療を実践します。そして個々の患者に最適な医療を提供する計画を立て実行する能力の修得を目標としています。 当院は、若い力が更に地域に貢献する「専門医」へと成長して行けるよう大学病院と緊密に連携しております。							
《学会認定施設》 日本内科学会認定医制度教育関連病院認定、日本血液学会認定医研修施設、日本腎臓学会研修施設、日本神経学会教育認定施設、日本循環器学会認定循環器専門医研修施設、日本呼吸器内視鏡学会認定施設、日本糖尿病学会認定教育施設、日本透析医学会認定制度認定施設、日本消化器内視鏡学会専門医制度指導施設、日本内分泌学会内分泌代謝専門医認定教育施設、日本肝臓学会認定施設							

領域別研修紹介

領域名	皮膚科	指導医 数	2	名	専門医 数	1	名
		《研修責任者》 木ノ内 基史 日本皮膚科学会皮膚科専門医					
《研修の特色、施設のストロングポイント》 発疹は誰にも見える。しかし、これを論理的に把握し、皮膚に、さらに身体全体に何が起きているのかを理解できないことには、発疹は見えていても、見ていないことになる。経験に頼らず、発疹を分析・理解することは、いかなる皮膚症状にも対応可能な能力を身につけることにつながる。当科はこの考えを基に研修にあたる。実際の研修では、上級医と一緒に視診と触診により皮疹を読み取り、病態を考え、疾患へ結びつける。もちろん、他の理学的所見や検査所見を参考にするが、あくまで中心となるのは皮疹の詳細な観察である。研修医にとって、これは皮膚科として当たり前と思うかもしれない。しかし、おそらくは、現在これを実践している研修施設はそれほど多くない。 当院は、救急医療を看板に掲げ、急性期医療を中心とした診療を行っており、当科もその一員としてその役割を担っている。よって、重症薬疹、皮膚軟部組織感染症（壊死性）、外傷、熱傷などを他科とも連携しながら対処している。一方、当院は地域医療支援病院で診療科も充実しており、様々な患者さんが受診される。膠原病、血管炎、サルコイドーシス、糖尿病や腎疾患に関連する皮膚病変など、全身疾患あるいは内臓病変と関連した皮膚疾患から、アトピー性皮膚炎、尋常性乾癬、蕁麻疹、皮膚腫瘍を含めた一般的な皮膚疾患まで、当科が対応する疾患は多彩である。マンパワーや設備の関係から全ての疾患を扱うことはできないが、外科的・内科的な治療を駆使しながら、ほとんどの疾患をカバーしている。 当科は皮膚を入り口とし、全身を見る。 臨床力のある実践派の皮膚科医を目指すなら、当科の研修はお勧めである。							
《学会認定施設》 日本皮膚科学会認定研修施設							

領域別研修紹介

領域名	病理診断科	指導医 数	2	名	専門医 数	2	名
		《研修責任者》 旭川赤十字病院 病理診断科部長 小幡 雅彦 略歴：平成6年3月 旭川医科大学医学部卒業、平成10年3月 旭川医科大学大学院医学研究科修了、平成10年4月 旭川医科大学病理学第一講座助手、平成14年4月より旭川赤十字病院病理診断科医師 資格： 日本病理学会認定病理専門医、日本専門医機構認定病理専門医、日本病理学会病理専門医研修指導医、日本臨床細胞学会細胞診専門医、日本臨床細胞学会教育研修指導医					
《研修の特色》 当院には種々の疾患に対応可能な多数の診療科を有していることから、広範な領域にわたっての病理診断を経験することが可能です。中でも悪性リンパ腫等の造血器症例は特に豊富です。最近 は 膵胆道系の悪性腫瘍症例も増加しており、これらの領域の病理診断に興味がある方には望ましい環境です。							
《学会認定施設》 日本病理学会研修登録施設、日本臨床細胞学会認定施設							

領域別研修紹介

領域名	放射線科	指導医数	3	名	専門医数	3	名
		研修責任者（氏名、略歴、資格、コメントなど）					
		放射線科 診療部長					
		峯田昌之					
		医学放射線学会診断専門医 医学博士					
研修紹介欄（研修の特色、施設のストロングポイント、学会認定施設、連絡先など）							
当科は、2006 年 4 月に、新規診療科として稼働している。 スタッフは 3 名であり、院内外の放射線画像診断、IVR を中心とした業務をこなしている。 画像診断業務は CT, MRI を中心としており、一部、核医学、超音波検査も含んでいる。 IVR は各診療科の依頼により、腹部を中心とした血管造影、止血手技、CT/US ガイド下穿刺、CV ポート留置、等を行っている。 画像診断領域における診断機器の進歩は極めて早く、ほぼ数年ごとのサイクルで、最新機器が出現しているが、当院では、X 線 CT 装置 2 台(64 列, 320 列 CT), MRI 装置 3 台(1.5T,3T), ガンマカメラ 2 台, 血管造影装置 2 台, 超音波検査装置 4 台, RIS, PACS, 読影ビューワー, が完備している。現時点で、最先端の画像診断機器、読影環境が導入され、時代に先駆けた画像診断を行っている。 学会認定施設 日本医学放射線学会放射線専門医修練機関, 日本 IVR 学会専門医修練施設.							